

大学

心理学部 心理学科

心理的アセスメントⅡ

大久保諒 講師

将来、臨床の場面で役立つ心理検査の運用スキルを実践的に修得しています。

「心理的アセスメントⅡ」は、ウエクスラー式知能検査、P-I-Fスタディ、MMPI、描画法など代表的な心理検査の基礎知識と実施方法について学ぶ授業です。学生たちは、二つの組に分かれて交代で、心理検査をおこない、その検査結果を読み取り、評価し、報告書としてまとめるまでを実践しています。「例えば、報告書は単純なレポートではなく、医師など第三者が見ても参考にできる内容にまとめるよう指導しています」と語る大久保先生。将来、臨床心理士や公認心理師になった際に役立つ基礎的な知識と技術を修得しています。さらに大久保先生は、「愛知淑徳大学の学生は、熱心で真面目な人が多い印象です。個人的には、その特性を活かし、この授業をきっかけに、問題意識を持って自分で考える力も伸ばしてほしいと思います」と語り、学生たちのさらなる成長に期待を寄せています。



愛知淑徳の授業

生徒・学生の意欲に応え、一人ひとりの可能性を広げる愛知淑徳学園のさまざまな授業を紹介いたします。

高等学校

愛知淑徳高等学校

社会(日本史)

武田創教諭

知識の伝達と自発的な学習を両立させ、学び続ける力を養います。

高校時代から日本史が好きで、特に仏像について熱く語る武田先生。先生自身が学びを楽しむ姿が、生徒の知的好奇心を刺激しています。社会科教員として大切にしているのは、「知識の伝達」と「自発的な学習をバランスよく行う授業づくり。日本史に関する幅広い知識、歴史の奥深さやおもしろさを伝えるとともに、生徒が主体的に学習する場を提供しています。高1の社会科学論文では、生徒が自ら研究テーマの選出、調査・分析、論文作成、発表に取り組む、自分の興味・関心を追求する楽しさを体感します。そして高3では、大学受験を見据えて演習なども実施し、学習の総仕上げを行います。「生徒たちが生涯にわたって学び続け、人生を豊かにしてほしいと願い、学びの種をまくつもりで毎日の授業に臨んでいます」と武田先生は語り、生徒の探究心を育んでいます。

